

みうら学・海洋教育ネットワーク通信 NO.12 令和2年12月10日

海洋教育写真コンテスト海の生き物部門入賞作品の紹介と講評その2

優秀賞「しんかいの小さいサメ」 剣崎小学校5年 石渡遥翔（はると）さん

このギンザメは、深い海の底で、緑色の大きな瞳に何を映して過ごしていたのでしょうか？泳いでいる姿を見てみたいですね。

釣れた貴重な深海魚を大きく写し出した一枚です。三浦の近海でも、このような深海魚が見られるのですね。



櫻井正則の会特別賞「黒崎海岸にガメラ現る！」 初声中学校1年 長澤晃太郎さん

ピントが、しっかりとこの写真の主人公であるカメノテを捉えており、存在感をより引き立たせている一枚です。地面の遠近感によって、ガメラが海に向かって飛び立つようにも想像させられました。生き物の力強さが表れています。

海水が満ちるかもしれない場所で撮影した努力もうかがえました。タイトルも素晴らしいですね。



海の風景とくらし部門入賞作品の紹介と講評その1

最優秀賞「光の導き」 三崎中学校3年生 石塚泰大（やすひろ）さん

城ヶ島からの夜の海を導く光は、船にとってとても大切な道しるべですね。灯台の光が指し示す方向を確認して、東京湾を安全に出入りする船が想像できますね。輝く未来も感じました。

絵葉書のような美しい一枚だと思います。



優秀賞「海と空」 名向小学校1年 飯岡桜さん

空に広がる雲と荒々しく力強い岩場が、すべて水平線のある一点に向かって収束していて、撮影場所の広がりを感じられる一枚です。

夕焼けの時間ということで、どこか豊かな気持ちになれたのではないのでしょうか？

引橋の交差点近くの大きな木は姉妹都市からの贈り物

引橋交差点近くに、2本の大木があるのには気が付いている方が多いと思いますが（右の写真）、その由来は知っていますか？

この木はナンヨウスギという名前です。三浦市の姉妹都市であるウォーナンブール市から、同市の代表的な樹木として、両市の友好と発展を祈念して、平成8年4月に贈られたものだそうです。



みうら学・海洋教育に関するお問い合わせは、
学校教育課まで 882-1111（内線428）